

綺麗な森を作る菌類 「変形菌類」



エダナシツノホコリ

ウルワシモジホコリ

●山から綺麗な水

森には沢山の生き物が暮らしています。動物や昆虫は糞や尿をし、最後には自身が屍しかばねになります。植物は葉や枯れ枝を落としながら成長しています。これら大量の有機物は、最後には菌類によって分解されますが、この菌類が曲者で、人に無害なものから、食べられるキノコや大腸菌群などの病原性の菌類まで様々です。

一方、山からの湧き水はとても綺麗です。沢山の動物たちの糞尿は、大腸菌の好物ですが、沢山の清流は綺麗です。ここに森の不思議があります。水が綺麗なのは、「変形菌類」と呼ばれる菌類が活躍していることが理由の1つとなっています。

●変形菌類とは

分類学的には、とても中途半端な位置づけで、動くことができるが動物ではありません。植物のように葉緑素を持ち、自ら養分を作り出すことができません。単細胞の生き物で、大きな体は1個の細胞ですが、細胞核は多核細胞と呼ばれ、体内に沢山の細胞核をもっています。ある部位で餌となる大腸菌を見つけると、細胞内の原形質を使って体の反対側に情報を伝達し、体全体が餌のある場所へ移動します。



山の水は綺麗です

この細胞内の原形質による情報伝達の仕組みをコンピューターに利用できれば、微弱な電気で動かせるとの話も耳にします。ごく一部の人に注目されている菌類です。

●特別な菌類

変形菌類は、自分の意思で動くことができます。24時間で数cmという速度で、肉眼ではその動きを確認することは難しいのですが、餌(他の菌類、小さな昆虫の死骸など)を捕食しながら生きています。繁殖は、キノコのように子実体に変形(写真のムラサキホコリ・エダナシツノホコリ・チチマメホコリの状態)し、胞子を放出して子孫を増やします。

ムラサキホコリ



エダナシツノホコリ



チチマメホコリ



モジホコリ



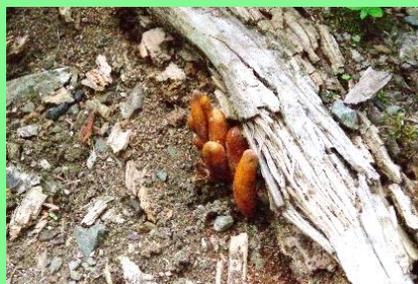
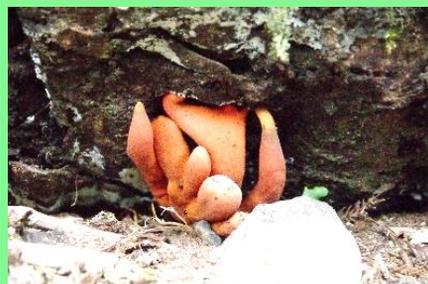
ツノホコリ



キフシスホコリ



危険・注意！ カエントケ



市内で猛毒のカエントケが確認されました。誤食による致死率も高く、中毒後にも運動障害などの後遺症もあるそうです。

さらに、キノコ本体を素手で触ると**糜爛(火傷の様な火ぶくれ)**を発生するそうです。見つけてもくれぐれも素手で触らないようにお願いします。夏に広葉樹の枯れた根株などに発生します。